



7/7
火曜日

みずはし保育園七夕まつり

みずはし保育園で、七夕に合わせて各クラスでイベントが行われました。織姫と彦星の紙人形劇を見たり、先生のピアノの演奏に合わせて、七夕の歌を元気いっぱい歌ったりして楽しみました。3歳児組では星形の積み木を集めるゲームを行い、園児たちはさまざまな色のお星さまを集め、天の川に思いをはせました。園舎には、園児たちの手作りの七夕飾りが飾られました。



6/25
木曜日

JAはが野梨部会が町長にハウス梨収穫開始を報告

JAはが野梨部会が役場庁舎を訪れ、見目町長にハウス梨の収穫開始を報告しました。同部会長の菊地一夫さん(芳志戸)を始め、同部会員の佐藤昌弘さん(稲毛田)、田口敬久さん(同)が、採れたばかりのハウス栽培の幸水を手「今年の梨は味も大きさもととても良くできています。多くの人に食べてもらいたい」と豊作の喜びを語りました。



6/25
木曜日

オートテックニッパージャパン・こくみん共済コープから横断旗寄贈

オートテックニッパージャパンとこくみん共済から、横断旗350本が寄贈されました。これは、オートテックニッパージャパン労働組合とこくみん共済コープが、共同で行っている「7歳の交通安全プロジェクト」の一環の活動です。見目町長は「以前は横断旗が多く見られたが、今は少なくなってきている。ありがたく活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



6/18
木曜日

沼能宏之さんが芳賀中学校に絵画寄付

沼能宏之さん(祖母井)が芳賀中学校に絵画を寄付しました。寄付した絵画のタイトルは「生きる」で、ブナの大木が地面に大きく根を張り、力強く生きている様子が描かれています。沼能さんは「新型コロナウイルスが感染拡大しているが、芳賀中生には、この絵を見て力強く前に進んでほしい」と話しました。大根田校長先生は「大変ありがたい。生徒がこの絵を見て何かを感じてもらうことができれば」と感謝の言葉を述べました。

地域
にっこり



6/20
土曜日

東高橋でコキア植栽

東高橋で、コキアの植栽が行われました。天候に恵まれたこの日は、地域の環境資源保全会の役員を始め、約60人が参加しました。約2時間で、3,000本にも及ぶコキアの苗木を全て植え終えました。参加者は「秋になり、育ったコキアが紅葉するのが待ち遠しい」と話しました。



7/3
金曜日

芳賀北小学校児童が学校周辺で生き物調査

芳賀北小学校5年生が、学校周辺で生き物調査を行いました。これは、生息種類や生態などを調べることで、子どもたちに水辺の生き物に興味を持ってもらおうと毎年行われています。芳志戸環境向上推進会議の役員さんなどの指導の下、田んぼの中や用水路の中を探しました。その後、理科室へ移動し、オタマジャクシやドジョウなどの観察を行いました。



6/25
木曜日

土砂災害危険箇所点検

土砂災害危険箇所点検が、町内各地で行われました。真岡消防署芳賀分署、真岡警察署、真岡土木事務所と総務課、建設課職員が点検に参加しました。北部と南部の2班に分かれ、町内の危険箇所を点検し、急な豪雨や台風による土砂災害への対応について検討しました。



6/23
火曜日

真岡税務署長から感謝状贈呈

真岡税務署から町に感謝状が贈呈されました。町では、平成30年分から所得税などの確定申告書のデータを、e-Taxにより真岡税務署に引き継ぐことができる施策を開始しました。これにより、還付金の早期還付や添付書類の省略が可能になり、住民サービスの向上と行政の効率化が図られました。見目町長は「今後も住民サービスをより向上できるよう取り組んでいきたい」と述べました。



7/6
月曜日

宝くじの助成金で西高橋自治会がエアコン設置工事を行いました

生きがいサロンや自治会行事などで利用者が利用しやすく、積極的に足を運んでもらえる場として維持していくため、西高橋農業構造改善センターにエアコン設置工事を行いました。これは、令和2年度コミュニティ助成事業の宝くじ助成金を活用し実現しました。快適な環境が整備されたことで、地域住民の交流、生涯学習、伝統行事の拠点として今後も活用されます。



7/6
月曜日

芳賀町とサイクルスポーツマネージメント株式会社の連携協定調印式

役場会議室で、芳賀町とサイクルスポーツマネージメント株式会社の連携協定調印式が行われました。この協定は町に自転車に親しめる環境があることから、自転車を通じた地域づくりの取り組みを推進し、地域を活性化するためのものです。連携協定に先立ち、宇都宮ブリッツェンと協力して阿部選手と西村選手に出演いただき、現在放送中の番組「芳賀チャリ」を制作しました。



七夕まつり(7月5日)

神事が行われ、子ども日本舞踊奉納では、地域の子もたちが真剣な表情で、一生懸命に舞踊を披露しました。境内には、たくさんの願い事が込められた短冊が飾られていました。



茅の輪くぐり(6月30日)

茅の輪くぐりは、半年間の罪や汚れを払い、残り半年間の無病息災などを祈る行事です。参加者は、地域の皆さんが手作りした大きな茅の輪を、年末までの半年の無事を祈りながらくぐりました。



太々神楽(6月28日)

新型コロナウイルス早期終息を祈願し、太々神楽が奉納されました。通常では、2月と11月のみですが、今回は特別に実施されました。「剣の舞」や「岩戸の舞」など4座が披露されました。

6/28
日曜日

6/30
火曜日

7/5
日曜日

西水沼の天満宮で神事